

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		高齢化に伴い、心身の状態の把握はできているものの、機能低下の維持が難しくなっている。	プランに反映させる事で、生活の中で取り組み、実行することで機能低下を防ぎ、生き生きとした生活を送ってほしい。	CD体操、口腔体操等残存機能を維持するために、取り入れたプランを作成し実行しモニタリングを行う。	6ヶ月
2		専門性を活かし、他施設のスタッフと共に劇団を立ち上げ認知症ケアの発信を行っているが、介護スタッフが多い為、実際の依頼に対し対応出来ない事が多くなってきている。	寸劇をDVD化することで、いつでもどこでも勉強会の開催が可能となり、認知症理解を深めていきたい。	症例別に寸劇をDVDに作成し、地域の方、小、中、高校生にも広めていく。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。